

くろつち便り

今月の内容

共助会講演会(8/19)／金曜集会(9/13)／野草折々71(特約)／Series学校現場②⑥／ごてれつの独り言⑩／社民党国政報告会(9/22)／くろつちグラウンドゴルフ大会(10/13)／

次回金曜集会是11/1日/17:00



↑会報QRコード

共助会講演会を終えて



8月19日、リナシティホールで教職員共助会大隅地区運営委員会・実行委員会主催の教育講演会を開催いたしました。

今回は「LGBT 性の多様性と人権」という演題で各学校職場、退職者等へ向けて案内をしました。多様な性を示す言葉LGBT（最近ではLGBTQと文字が一つくわえられています。）について、その当事者お二人を講師に招いて、正しい理解と知識を得る機会としたい企画でした。

セクシャルマイノリティ（性的少数者）当事者であると認識する人が、世界では約8%といわれ、日本では4%とか8%とか各種調査によって若干の違いがあるようです。一方、心無い発言、無理解

による差別、偏見、いじめなど性的少数者にとって苦痛、悩み、被害の実態も挙げられています。講師から「言葉は人を殺す。性的少数者に対してフツと言葉を発してしまう前に、一度立ち止まる気持ち、理解を持ってほしい。」と言われたとき、自分自身ハッとさせられました。

性的少数者への特に重要な対応が求められる現場教職員の参加が、大隅地区全体で70名と少なく残念な思いでした。現職の一人一人に講演会の案内がいきわたってなかったのかなあと思うことでした。くろつち会からも15名ほど参加していただきました。

性的少数者の子どもたちの居場所「にじいろおおすみ」が毎月第4日曜日にリナシティかのやで交流会を持っているという報告も代表の徳田ひろみさんからありました。ありのまま、そのままでいい、

そう思うことができる居場所に子どもたちが集まってくるそうです。

参加者からはたくさんの感想をいただきました。「まずは自分が知ること、学ぶこと。優しい社会になれるよう、自分も対する子どもたちに関わっていきたいと思います。」「とても学びになりました。正しい知識を知り、豊かな感情で子どもたちと関わっていきます。」「これまでLGBTの研修は何度か受けたが、今回ほど当事者の方が、ご自分の経験など率直に話して下さったのを初めて聞き非常に参考になった。」などなど現職の皆さんほとんどに好評でした。

共助会大隅地区肝属ブロック事務局 矢野務

GG大会

くろつちグラウンドゴルフ大会
日時 10月13日
受付 8時30分
かのやグラウンドゴルフ場
Dコース (参加費300円)

夏休み中盤の頃、
「組合のことに
少し話を聞かせて
ください。」とお願
いされていた男性
職員と2人で飲ん
だ。以前から相
談したいことがあ
るといふことだっ
たのと、ちょうど
組織拡大月間と
いふことで少し
緊張感をもって臨
んだ。：：
つもりだったがそ
れも最初だけ、前
段の魚釣りの話で
盛り上がり過ぎて
しまった。結局、

何十回経験しても
この始業日は何とも
言えない緊張感
がある。まずは
子どもたちが元
気に登校してく
れるのか、そし
て長い夏休みを
過ぎて、生活のリ
ズムを崩すのは
決して子ども
たちだけではない
のかも。：
夏休み後半に突
然助けを求めら
れた。以前退職
する前に同じ学
校に勤務してい
た女性教諭から
だった。長い間
、臨時的任用職
員として頑張っ
ていたが、昨年
新規採用として
鹿児島市内の小
学校に配属され
た。しかし、採
用当初から管理
職だけでなく学
年主任などから
もパワハラを受
けてきたが今年
の6月から病休
で職場を離れて

学校現場から
シリーズその26
寿北小 関下俊郎
2学期がスタート
トした。

私の手製の釣り竿を男
性職員の息子さんたち
にプレゼントするとい
う約束をしてその日は
終わった。私のオルグ
はだいたいいつもこん
なもんだ。肝心なこと
に迫ることなく平凡な
「飲ん方」に終わって
しまう。それでも次の
飲ん方も約束済みであ
る。(ちった具合を入
れよう)

今年、運動会が10
月末に計画されてい
るので、これまでは違
って少しだけ落ち着
いた中で2学期
のスタートにな
った。：：
：：ような気がす
る。

二学期スタート

暫定再任用：パート⑤

いることだった。詳細を確認するため会
て話をすることにした。
これまでできてきたこ
とを事細かに聞くこと
4時間半。「組合に加
入して分会の力を借り
た方がいい。」という
アドバイスをした。翌
日「加入しました。」
というラインが届いた。
「これからは共に頑張
ろう。」と返信した。
2学期が始まって再び
話を聞く機会があった
が復帰に向けて前向き
に動き出したことを知
り少し安心した。

金曜集会

9/13日イベント広場、諸事情で3ヶ月ぶりとなった金曜集会にいつものメンバーが集まった。
松下徳二さん



ルで市民に訴えた。

原発はいらない
廃炉にせよ!!
鹿屋に弾薬庫はいらない!!
自民党いらない!



福島原発はデブリの取り出しが始まりましたが無理だろうと思います。子どもの甲状腺ガンが普通の地域よりも増えています。東電はそれさえも認めていません。

声高らかにシュプレヒコー

振り向いてくれる人は少ないけど、声は届いているはず。プラカードを目に留めた人もいたはず。朝ドラ「虎に翼」で寅子など色々な人物が随所で発した光る名台詞「今は何も変わらないかもしれないが声を上げることで後に何か変わるかもしれない」がある。それを信じて… 次回は11月1日、17時〜。

山内みつのりと語る会

9月22日、福島みずほ社民党党首を招き、表題の語る会がありました。福島さんは「・今政治を変えないといけない・変えるべきは憲法ではなくて自民党政治だ」などと話し山内さんへの支持を訴えました。また山内さんは「税金はくらしに」と主張し衆院選への意気込みを熱っぽく語りました。

お悔やみ申し上げます

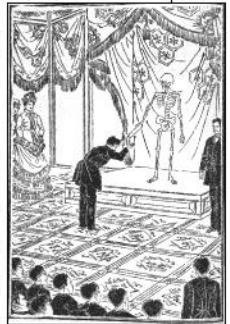
最近永眠された方のご芳名です。
隈元哲夫様 7月13日 90歳
謹んでご冥福をお祈り致します。

ぶつくさ言う人 32 ござれつのおしり

◆真の奇人はつむじ曲がり(外骨)
讃岐の偉人は空海で奇人と言えば平賀源内だが、宮武外骨(1867~1955)も生前から奇人と呼ばれていた。くろつち便り6月21日号「金曜集会」の中で少し触れたが肩書きは多く、明治文化研究家、風刺家、ジャーナリスト、文化史家、風俗史家、民本主義者、廃姓論者、新聞雑誌発行者、資料蒐集家…。
僕の手元に書籍「猥褻風俗辞典」「明治奇聞」等があるが、その他「滑稽新聞」「面白半分」「私刑類纂」「筆禍史」「賭博

史」等々、その表題を並べるだけでも奇人ぶりが窺える。しかし外骨は「真の奇人は奇を銜う者ではなく、つむじ曲がりだ」と述べて生涯を反権力で貫き権力者の醜聞を暴いている。
明治憲法発布の年外骨23才、「頓智協會雑誌」で憲法発布を風刺した記事が不敬罪に問われ起訴、三年間入獄している。その後何度も筆禍に会い、発行停止の処分を受けている。
彼の刊行物を柳田国男は紛い物だとして与しなかったのは、大政翼賛の一翼を担った御用学者だからだろう。一方では外骨と親交のあった吉野作造(東大教授、大正デモクラシーの中心

人物)は外骨を「偽善者ではなくて偽悪者だ」と高く評価し支援もしている。
さて現社会に目を向けると外骨が嘔みつきそうな人物が多い。壺議員(統一教会関連議員)や裏金議員、将又国会論争でのがちんこ勝負を避けて解散するという石破茂新総裁などは真っ先に嘔みつき対象で、外骨の「身体で飯を食う人」の言い方だと「他人の血で飯を食う人」だろうか。
くろつちにもつむじ曲がりはいないかな。(楯園)



(↑)外骨が研法を下賜する図

野草折々-71-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

キキョウ
(キキョウ科)



キキョウは多年草で、日当たりのよい山野に育ち秋の七草の一つです。

2010年10月3日 県民の森 植栽

